

授業概要

春期の国語科教育法Ⅰの授業を踏まえ、作成した指導案をもとに模擬授業を行います。模擬授業における達成度について、学生による総合評価も行う実践的なトレーニングの授業です。

授業計画

第1回	授業指導案作成上の留意点の確認
第2回	模擬授業 導入の実際
第3回	模擬授業 発問の実際
第4回	模擬授業 生徒の学習活動に対する支援の実際
第5回	模擬授業 授業展開の実際
第6回	模擬授業 板書の実際
第7回	模擬授業 評価方法の実際
第8回	模擬授業 中学小説教材
第9回	模擬授業 中学説明文教材
第10回	模擬授業 中学古文教材
第11回	模擬授業 高校小説教材
第12回	模擬授業 高校評論文教材
第13回	模擬授業 高校古典教材
第14回	模擬授業 表現活動の実際
第15回	模擬授業 話し合い活動の実際
第16回	総まとめ（授業指導案作成・レポート提出）

到達目標

生徒の学習活動に有効な国語科授業指導案を作成し、それに基づき授業が行えるようになることが目標です。

履修上の注意

模擬授業担当者は、指導案の作成、授業の実施、生徒の学習活動の評価まで、一連の授業活動を体験することになります。

予習復習

毎時間、課題を出します。それが実質的な予習・復習になります。

評価方法

- 国語科授業指導案の作成、及び、模擬授業
- 国語科教育に関する課題図書についてのレポート
- 人に何かを教え、評価する資格を得るためには、自らに何が求められているのか。そのことを考え続ける姿勢があるかどうかを常に見て判断します。

テキスト

春期の国語科教育法Ⅰと同じです。

- ・中学校学習指導要領解説国語編（東洋館出版）
 - ・高等学校学習指導要領解説国語編（教育出版）
- その他については、毎時間、プリントを配布します。